

地域の方々のサポートと 新たなつながり

貴生川小学校長 片岡 義博

「はじめよう やってみよう」の
スローガンのもと、コミュニティ・
ルームで熟議を重ね、地域連携協
議会の様々な組織の皆さんと一緒
に活動をしてきました。

学校運営協議会のメンバーや、
学校ボランティアさんが学校のス
タッフとして関わり、子どもたち
と一緒に活動したり話をしたりし
ています。そうした地道で多様な
動きが、子どもたちにも浸透し、
「あっ、あのおっちゃんや」「あり
がとう」など子どもたちのなかに、
地域との斜めのつながりが見えて
きたと感じています。

現在、地域一体型「あいさつ運動」
を取り組む準備をしています。地
域のすべての人が、いつでも、ど
こでも、だれとでも、続けてあい
さつがし合える地域をめざします。

今後、地域連携協議会の様々な
組織の皆さんと、地域の未来の宝
である子どもたちについて語り合
い、いかに協働できるかが貴生
川小コミュニティ・スクールの課
題でもあり目標でもあります。

これからも「C（コミュニティ）・
S（スクール）だより」「あつボラだ
より」「きぶかわっこ」等でも、活
動を見える化し、想いの共有を図
り、学校と地域のゆるやかなつな
がりをめざしていきます。

さまざまな意見が交わ
られる学校運営協議会



地域とともに いる学校

～コミュニティ・スクール～

甲賀市では初となる「コミュニティ・スクール※」が市内2
域の方々のサポートにより、児童たちはこれまで体験する
未来の甲賀市を担う子どもたち、これからの地域とと

※子どもや地域のことを話し合い、目標を共有するため「学
ティ・スクール(CS)」といいます。地域と学校がともに連携・

つの小学校で始まり1年。地
このできなかった新たな学びにつながりました。
もにある学校についてみんなで考えてみましょう。

校運営協議会」を設置した学校を「コミュニ
協働した取り組みを進めていく仕組みです。



とっても
わかりやすい！



地域の人が
一緒だから
安心！



明るい学校 貴生川
桜並木の丘のうえ

洗面台などを
消毒する倉田さん



普段見られな
いような子ど
もたちの姿を
見ることがで
きるのもボラ
ンティアをし
ているからこ
そだと思っ
ています。」

「新型コロナウイルスの感染防止のため、先
生方が消毒をされている姿を見て、
自分の空いた時間で少しでも何かで
きないかと思いつき活動を始めました。
活動する中で、毎日子どもたちの
元気な姿を見ると私自身も元気を
もらえますし、いつもありがとつ
という温かい言葉をもらえることが
やって良かったなと思う瞬間です。

子どもたちの成長を近くで実感

新型コロナウイルスの感 染防止のた
め消毒ボランティアとして活動される
倉田寛子さんにお話を伺いました。

子どもも大人も
「はじめよう やってみよう」
貴生川小学校のCSの合言葉であ
る「はじめよう やってみよう」は、子
どもたちがこれからの時代に必要と
なる主体性や積極
性を育むという目
標だけではなく、大
人も同じ目標に向
かって一緒に考えま
せんかという思いが
込められています。



CSはこれまでの学校、保護者
PTAだけが子どもたちに関わるの
ではなく、「地域も一緒に学校や子ど
もたちのことを考えていきたいと思います」
という仕組みです。子どもや学校の
抱える課題を解決するため、地域の
方々にもサポートをいただくことで、
児童の学びの充実だけではなく、自
己肯定感や互いを思いあう心の醸成、
サポートいただいている方の生きが
いなどが生まれるなどの相乗効果も
期待されています。

コミュニティ・スクール
(CS)への期待

多くのサポートがある中、図書ボ
ランティアとして活動されている皆
さんにお話を伺いました。

誰もが気軽に参加できる
ボランティア活動の輪

「学校には先生じゃなくてもでき
る仕事がたくさんあると思います。
私たちは図書本の整理や図書室での
季節に応じた飾りつけなども空いた
時間に自分たちの得意なことをい
し、子どもたちが過ごす環境を整え
るとともに、心の安心と豊かさにつ
ながればと少しのお手伝いができれ
ばと参加しています。活動を続ける
中でできる事柄も新たに気づかり、
学校や子どもたちと関わる機会が増
えたと感じています。

また、子どもたちも、さまざまな
人との関わりの中で日々成長してい
く姿を実感しています。

子どもたちのより良い成長のため
に何が大切であるかを考え、これか
ら空いた時間で、自分のできる範
囲で子どもたちに関わっていければ
と思っています。

地域も一緒に子どもたちの成長を
喜べる、そんな思いで学校に関わる
人が一人でも増えていくことを願っ
ています。」



これまでの経験をいかし、学校と地
域の連携役を務める沢井譲さんにお話
を伺いました。

地域も学校もプラスに

「コミュニティ・スクールという言
葉が広がるにはまだまだ時間が必要か
と思います。これまでの学校が必要
に応じて地域のご意見を求めるのは
なく、地域の方には気軽に学校へ来
ていただく、みんなと一緒に学校をつ
くっていくましようというのがCSの
特徴です。

これまでの学校・PTA・家庭だけ
で課題を解決しようというものではな
く、地域の方も一緒に子どもたちを見
守っていくような土壌ができ、関
わっていく方のつながりの輪がより広
がっていくことが願いです。
将来的には地域の方が学校に関わる
だけでなく、児童が地域行事等にも
積極的に関わることでも地域も学校もプ
ラスになるという活動に広がってい
ければと思います。」